

未来担う人材育成を

大館市 教 委 大学、高校長らと懇談会

大館市教育委員会と市内の教育機関の代表者が情報交換する教育懇談会は25日、同市のプラザ杉の子で開かれた。

「ふるさとの未来を担う人材づくり」をテーマに、各校が地域と連携した取り組みや地域貢献活動を紹介し合い、大館の教育をさらに深化させるために意識を共有した。

市内の教育機関の連携を深め、大館のふるさとキャリア教育に生かそうと毎年開催。市教委や市内3高校長、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、秋田大学北秋田分校、比内支援学校、市校長会の代表者ら17人が出席した。

長岐公二教育長が大館市の教育の方向性を示し、「ふるさと教育は『知る』から『感じる』へ、キャリア教育は『職業観』から『生きざま観』へ」とテーマを紹介。課題に立ち向かうため、「大人自身

が人口減少に歯止めをかける当事者。大人のかっこよさを見いだすため、義務教育と高

等教育のつながりを強化できないか」と提案した。続いて各校が重点目標や地域連携の取り組み、進路状況などを報告。出席者同士で意見交換を行い、課題を共有し、今後の連携の可能性を探った。



教育機関の代表者が意見交換した懇談会（プラザ杉の子）